

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	6	
事業名	公民館諸事業経費		会計	款	項	目
			一般	10	5	3
施策	3 心豊かなまち		課名	社会教育課		
	3-1 生涯学びのあるまちをつくる		係名	生涯学習係		
	3-1-3 生涯学習の推進					
主要施策	③特色ある生涯学習プログラムの整備と提供		⑤学習成果の活用			
	⑥生涯学習に参画する人材の育成					

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど施設の有効利用、利便性を図る。
事業内容	中央公民館での作品展示やクラブ・サークル活動の充実、また、生涯学習の企画運営に参画するコーディネーター（指導者含む）を募集し、人材の発掘と育成を図るとともに、若者から高齢者までを対象とした学習機会の拡充に努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	公民館施設利用者数	30,217	26,678	20,161	人	→	26,000
2								
3								
4								
5								
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			6,535		6,257		6,965	
財源内訳	直接事業費A		3,553		3,275		3,719	
	うち一般財源		3,553		3,275		3,719	
人件費（千円）B			2,982		2,982		3,246	
内訳	一般職員（人・千円）		0.37	2442	0.37	2442	0.41	2706
	臨時職員（人・千円）		0.30	540	0.30	540	0.30	540

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	B 対象が狭すぎる
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	夜間の施設利用が増えるように、魅力ある公民館講座等の開設に努める。	③取組の課題	利用者数の伸び悩みが顕著である。
②R2年度に実施した取り組み	公民館講座の委託先である（一社）東員町文化協会に協力を仰ぎ、受講終了後のサークル活動への案内を行った。	④今後の改善計画	公民館講座を修了した受講者が、継続して活動できるようクラブやサークル団体に協力要請し、学習機会の提供を図る。